

令和3年11月13日

国民の皆様へ

公益社団法人日本産婦人科医会
会 長 木下 勝之

HPV ワクチン定期接種の積極的勧奨再開が決まりました

令和3年11月12日に開催された第72回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会で、「HPV ワクチンの定期接種の積極的な勧奨を差し控えている状態を終了させることについて」、各委員に意見を求められましたが、この提案に対して反対の意見はありませんでした。この結果から、「定期的勧奨を差し控えることを終了する」ことが示され、HPV ワクチン定期接種の積極的勧奨の再開が決まりました。

HPV ワクチンは2013年6月に積極的勧奨が一時的に中止となつて以来、8年が経過しました。その間、国内、海外の学術的研究成果を踏まえ、国民には、丁寧に、HPV ワクチンの安全性と有効性を伝えてきましたが、今日でも、ワクチン接種率は上がらず、1～3%と低迷しています。

勧奨再開の日程は、今後開催される厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で決定され次第、ご報告いたします。

今後も、接種後に生じた症状に苦しんでいる人たちに寄り添った支援を行うと同時に、国民の皆様にも、今まで同様医学的データをもとに、その安全性と有効性をお伝えすることで、接種率向上を図ってまいります。また、安心かつ確実に接種が出来るように、具体的な勧奨再開に向けての体制づくりは、医会の組織を挙げて実施したいと思っております。

HPV ワクチンによる子宮頸がん予防を目指した取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。